

こわくて、たのしい

スイスの絵本展

クライドルフ、フィッツジャー、
ホフマンの世界



フェリックス・ホフマン「おかみと七ひきのこやぎ」〈こやぎたちドアをあける〉1957年 小さな絵本美術館蔵
©フェリックス・ホフマン

2025年
12月5日[金] » 2026年
2月1日[日]

休館日：12月28日(日) - 1月1日(木・祝)

開館時間 午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)
入館料 一般1,000円(4枚セット券3,000円)／大学生800円
高校生500円／中学生以下無料
主催 公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム
後援 中日新聞社、読売新聞社、朝日新聞社、三重テレビ放送
協力 一般財団法人小さな絵本美術館、アサヒグループ大山崎山荘美術館
企画 神戸新聞社

関連イベント ※イベントは諸事情により変更になる可能性がございます。詳細については公式HPをご確認ください。

●記念講演会
「わたしの好きなスイスの絵本」
日時：12月7日(日) 午後2時～3時
講師：武井利喜
(一般財団法人小さな絵本美術館館長)
参加料：無料(要入館券)

●パラミタコンサート
「管楽器ピアノリオで奏でる西洋の響き」
日時：2026年1月11日(日) 午後2時～3時
出演者：安宅真平(サクソフォン)、
稲垣七海(ユーフォニアム)、松本成美(ピアノ)
参加料：無料(要入館券)

こわくて、たのしい

スイスの絵本展

クライドルフ、
フィッシャー、
ホフマンの世界

スイス出身の絵本作家3名を紹介する展覧会です。

エルンスト・クライドルフ(1863-1956)は、植物や昆虫を主人公にした不思議な世界を創り出した絵本画家で、西欧における絵本の黎明期を代表する人物としても高い評価を得ています。ハンス・フィッシャー(1909-1958)は『ブレーメンのおんがくたい』『こねこのびっち』などの絵本にとどまらず、版画、舞台美術、教科書の挿絵、壁画など多方面で活躍しました。フェリックス・ホフマン(1911-1975)は『おおかみと七ひきのこやぎ』等の広く愛されている作品で有名ですが、それらは元々わが子へプレゼントするための手作り絵本でした。また、グリム童話やスイスの伝説を題材とした彼の作品は、ユーモラスながらもどこかほの暗い怖さを併せ持っており、昔話の雰囲気を伝えています。

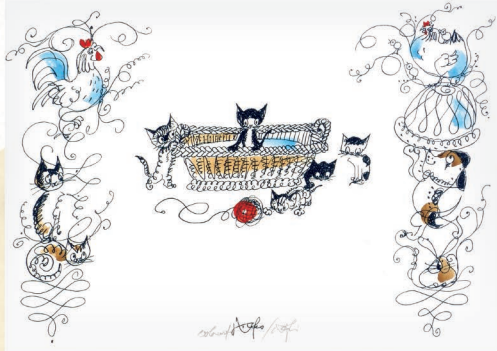
本展では、クライドルフの初版リトグラフやフィッシャーの原画、ホフマンの手描き絵本など約160点を展示します。可愛い創作絵本から有名な童話、奇妙な昔話まで、作家3名が描いた世界をお楽しみください。



「スイスの伝説」
《ハリの歩哨》(部分) 1971年
©フェリックス・ホフマン



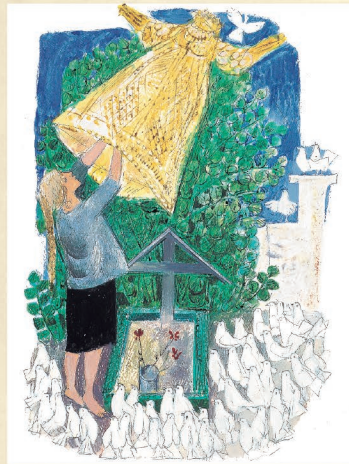
「ブレーメンのおんがくたい」
《ベッドの中の動物たち》
1940年頃 ©ハンス・フィッシャー



「こねこのびっち」原稿 1948年 ©ハンス・フィッシャー



「メルヘンビルダー」《ヘンゼルとグレーテル》1945年
©ハンス・フィッシャー



「グリムの昔話」《灰かぶり》
©フェリックス・ホフマン



「スイスの伝説」《さすらいの魂》1971年
©フェリックス・ホフマン



「ねむりひめ」《いばらのいけがき》1959年 ©フェリックス・ホフマン



エルンスト・クライドルフ「ふゆのはなし」表紙 1925年頃



エルンスト・クライドルフ「花を積みかに(春の使い)」《ま母さん》1926年



エルンスト・クライドルフ「花のメルヘン」《結婚式》1898年

掲載画像はすべて小さな絵本美術館蔵

次回展示のお知らせ

会期 2026.2.7(土) ▶ 3.29(日)

日本の色 染司よしおか 吉岡更紗の仕事

江戸時代から200年以上続く染色工房「染司(そめのつかさ)よしおか」の6代目、吉岡更紗(よしおかさらさ/1977-)は、古くから伝わってきた植物染め、自然に存在する草木花の中から美しい色彩を引き出して絹や麻、木綿、和紙などの自然素材を染めることを生業としています。本展では、春夏秋冬...移りかわる季節を表した作品、古社寺に納めずる和紙の造花や伎染衣装、そして現代の生活に加えられる美しい色彩を一堂にご覧いただけます。

■お車をご利用の場合/〇東名阪(四日市IC)より湯の山温泉方面へ約6.5km 〇新名神(菟野IC)より約4km ■無料駐車場有り(普通車100台、大型/バス駐車可)
■電車をご利用の場合/近鉄(四日市駅)より近鉄湯の山線にて約25分、「大羽根園駅」下車、湯の山温泉方面へ300m ■全館バリアフリー、車椅子常備

paramitamuseum

公益財団法人岡田文化財団 パラミタミュージアム 〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6
Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077 E-mail office@paramitamuseum.com
https://www.paramitamuseum.com Facebook(@paramitamuseum) Instagram(@paramitamuseum) X(@paramita_muse)

